

## 第2節 小学生の学習観・成績観と学力

### 1. 成績観と学力

#### ①成績の自己評価と学力

学力階層によって成績の自己評価が大きく異なっている。しかし、学力階層が「下位」であっても今の成績がクラスで「上位」や「中位」であると自己評価する子どもが多く、その割合の合計は45.0%にも達する。

Q

あなたの今の成績は、クラスの中でどのくらいですか。  
 次の教科（算数、国語）の今の成績は、クラスの中でどのくらいですか。  
 あなたはどのくらいの成績がとれたらいいと思いますか。  
 今の成績は別として、あなたがうんとがんばれば、どのくらいの成績がとれると思いますか。

表3-2-1を用いて、算数、国語、2教科合計の学力階層別に、子どもたちが自分の成績についてどのように思っているかを考察する。

まず、2教科合計の学力階層についてであるが、「今の成績はクラスの中で『上位』（7段階中「1（上のほう）」「2」「3」を選択）である」と自己評価した割合は、「上位」59.0%に対して「下位」12.4%と46.6ポイントの差があった。反対に、「今の成績がクラスの中で『下位』（「5」「6」「7（下のほう）」を選択）である」と自己評価した割合は、「上位」11.1%に対して「下位」52.3%と41.2ポイントの差になっている。学力階層によって成績の自己評価が大きく異なっていて、両者は相関しているといえよう。

しかし、ここで注目したいのは、2教科合計の学力階層が「下位」であっても、「今の成績がクラスで『上位』である」と答えた子どもが12.4%、「『中位』（「4（真ん中）」を

選択）である」と答えた子どもが32.6%、合わせて45.0%もいるということである。こうしたズレが生じた理由として、算数と国語以外の教科が成績の自己評価に影響を与えているという可能性や、小学校ごと・クラスごとに学力の差違が大きく、2教科合計の学力階層が「下位」でも自分のクラスの中では「上位」や「中位」に位置する子どもがいた可能性が考えられる。

次に、算数についてしてみると、学力上位層ほど「算数の今の成績はクラスの中で『上位』」と答える割合が高くなるが、それだけでなく「国語の今の成績はクラスの中で『上位』」と答える割合も高くなる。同様に、国語でも学力上位層ほど「国語の今の成績はクラスの中で『上位』」と答える割合が高くなるが、それだけでなく「算数の今の成績はクラスの中で『上位』」と答える割合も非常に高くなる。

さらに、「あなたはどのくらいの成績がと

れたらいいと思いますか」「今の成績は別として、あなたがうんとがんばれば、どのくらいの成績がとれると思いますか」という質問に対しては、算数、国語、2教科合計の各学力階層の「上位」ほど、肯定的な回答をする傾向が現れているが、「下位」の子どもでも

およそ6割が「『上位』の成績をとりたい」と答え、同じくおよそ6割が「がんばれば『上位』の成績がとれる」と答えている。学力階層の低い子どもたちであっても高い成績をとりたいと考え、そしてがんばれば実際にとれると思っていることがわかる(表3-2-2)。

表3-2-1 成績の自己評価(学力階層別)

(%)

		算 数				国 語				2教科合計			
		上位 (187)	中の上位 (621)	中の下位 (311)	下位 (231)	上位 (218)	中の上位 (497)	中の下位 (416)	下位 (216)	上位 (227)	中の上位 (515)	中の下位 (371)	下位 (227)
あなたの今の成績はクラスの中でどのくらいですか	上位 「1」「2」「3」	<u>56.6</u>	39.1	16.7	<u>13.4</u>	<u>55.1</u>	40.7	19.5	<u>12.9</u>	<u>59.0</u>	40.6	15.7	<u>12.4</u>
	中位 「4」	29.9	35.9	37.3	34.2	28.9	36.4	38.5	31.9	29.1	36.9	38.3	32.6
	下位 「5」「6」「7」	<u>11.8</u>	22.4	44.1	<u>50.3</u>	<u>14.7</u>	21.1	39.2	<u>52.2</u>	<u>11.1</u>	20.0	43.7	<u>52.3</u>
算数の今の成績はクラスの中でどのくらいですか	上位 「1」「2」「3」	<u>67.9</u>	44.3	19.6	<u>13.5</u>	<u>57.7</u>	41.7	27.6	<u>21.3</u>	<u>63.5</u>	43.7	23.8	<u>14.9</u>
	中位 「4」	<u>17.1</u>	<u>30.9</u>	26.7	22.9	24.8	27.2	27.9	25.0	20.7	30.5	27.2	23.3
	下位 「5」「6」「7」	<u>15.0</u>	23.2	52.8	<u>61.9</u>	<u>17.0</u>	29.9	42.8	<u>52.3</u>	<u>15.0</u>	24.5	48.2	<u>59.5</u>
国語の今の成績はクラスの中でどのくらいですか	上位 「1」「2」「3」	<u>58.8</u>	41.8	26.1	<u>17.8</u>	<u>62.8</u>	44.9	23.8	<u>14.3</u>	<u>64.7</u>	42.3	24.4	<u>14.5</u>
	中位 「4」	<u>24.6</u>	31.7	32.8	<u>39.4</u>	<u>24.8</u>	31.8	<u>38.0</u>	30.6	<u>22.5</u>	32.2	<u>38.5</u>	33.0
	下位 「5」「6」「7」	<u>16.0</u>	25.2	39.9	<u>41.6</u>	<u>11.9</u>	22.3	36.8	<u>53.3</u>	<u>11.8</u>	24.4	35.6	<u>50.6</u>

注1) 下線は10%以上差があるもの(最大値と最小値)

注2) ( )内はサンプル数。

表3-2-2 とりたい成績・がんばればとれると思う成績(学力階層別)

(%)

		算 数				国 語				2教科合計			
		上位 (187)	中の上位 (621)	中の下位 (311)	下位 (231)	上位 (218)	中の上位 (497)	中の下位 (416)	下位 (216)	上位 (227)	中の上位 (515)	中の下位 (371)	下位 (227)
あなたは、どのくらいの成績がとれたらいいと思いますか	上位 「1」「2」「3」	<u>96.8</u>	92.0	84.9	<u>66.6</u>	<u>96.4</u>	93.4	84.8	<u>63.9</u>	<u>96.9</u>	93.4	86.0	<u>62.1</u>
	中位 「4」	<u>2.1</u>	5.6	10.6	<u>19.0</u>	<u>3.2</u>	4.6	11.5	<u>17.6</u>	<u>2.6</u>	4.7	10.5	<u>20.3</u>
	下位 「5」「6」「7」	<u>1.0</u>	2.2	3.8	<u>12.5</u>	<u>0.5</u>	1.8	2.9	<u>17.1</u>	<u>0.4</u>	1.8	3.0	<u>15.8</u>
今の成績は別として、あなたがうんとがんばればどのくらいの成績がとれると思いますか	上位 「1」「2」「3」	<u>94.7</u>	89.5	77.2	<u>61.1</u>	<u>95.9</u>	89.5	78.9	<u>59.7</u>	<u>96.4</u>	90.7	79.5	<u>56.0</u>
	中位 「4」	<u>4.8</u>	7.9	17.7	<u>25.5</u>	<u>3.7</u>	8.2	16.6	<u>24.1</u>	<u>3.1</u>	7.4	16.2	<u>27.8</u>
	下位 「5」「6」「7」	<u>0.5</u>	2.1	4.2	<u>11.2</u>	<u>0.5</u>	1.8	3.2	<u>14.7</u>	<u>0.4</u>	1.6	3.0	<u>14.4</u>

注1) 下線は10%以上差があるもの(最大値と最小値)

注2) ( )内はサンプル数。

## ②成績観・学力観と学力

学力上位層ほど学歴獲得を目指した学力向上を望んでいる。それに対して、下位層ほど、そこそこの学力で満足する。この背景には「そんなに勉強しなくても、なんとか進学できるだろう」という現状認識が影響している。



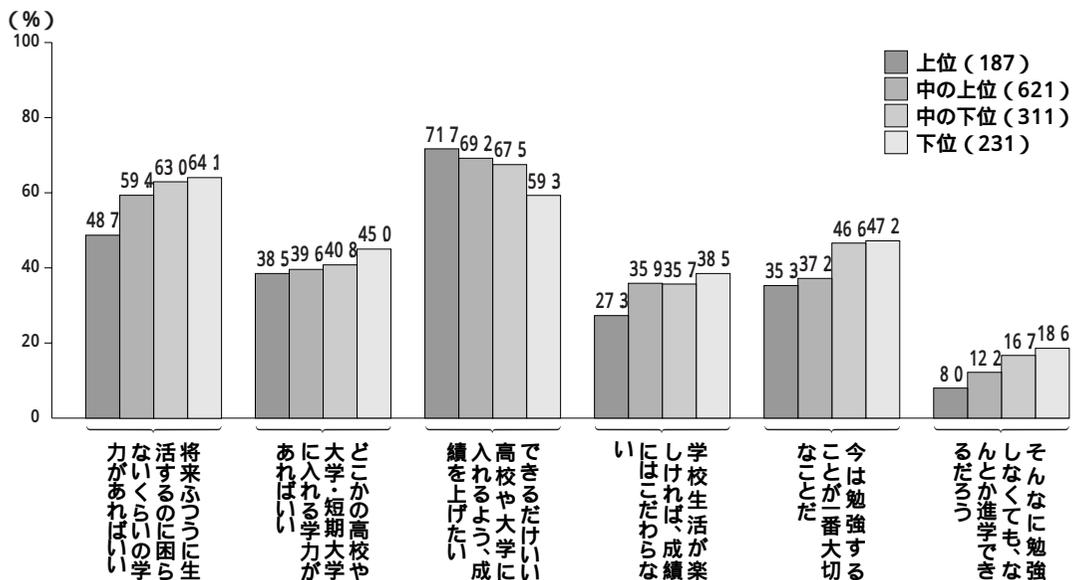
あなたは、次のように思うことがありますか。

図3-2-1①は、成績観・学力観を尋ねた結果を算数の学力階層別に示している。これを見ると、算数の学力が上位であるほど、「できるだけいい高校や大学に入れるよう、成績を上げたい」と答える割合が高まり「上位」では71.7%にも及んでいる。学力が高いほど学歴獲得を目指した成績達成を望んでいることがわかる。これに対して学力下位層ほど、「将来ふつうに生活するのに困らないくらいの学力があればいい」「どこかの高校や大学・短期大学に入れる学力があればいい」という回答が多く、そこそこの学力で満足

している。この背景には「そんなに勉強しなくても、なんとか進学できるだろう」という現状認識が影響している。その結果、学力の低い子どもは「学校生活を楽しめれば、成績にはこだわらない」としているが、しかしながら同時に、矛盾するようだが「今は勉強することが一番大切なことだ」とも考えている。実際の学校生活は勉強をしないと楽しいものにならないようになっているのであろうか。

図3-2-1②で国語についてしてみると、「将来ふつうに生活するのに困らないくらいの学力があればいい」「どこかの高校や大

図3-2-1 成績観・学力観（算数の学力階層別）



注1) 複数回答。

注2) ( )内はサンプル数。

学・短期大学に入れる学力があればいい」の2つの項目では「上位」と「下位」で差がほとんどない。これに対して、「できるだけいい高校や大学に入れるよう、成績を上げたい」は「上位」が72.5%、「下位」が56.5%と差が大きい。そして、「そんなに勉強しな

くても、なんとか進学できるだろう」は「上位」が9.6%に対して、「下位」が21.8%となっている。

最後に、図3-2-1③をみると、2教科合計でも、国語とほぼ同じような傾向になっている。

図3-2-1 成績観・学力観（国語の学力階層別）

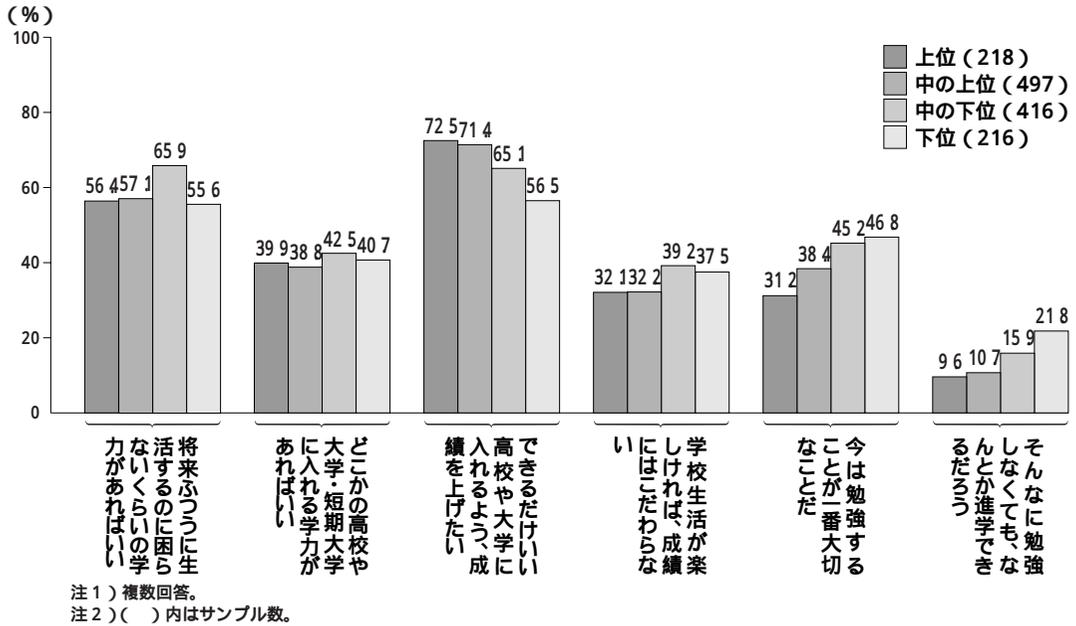
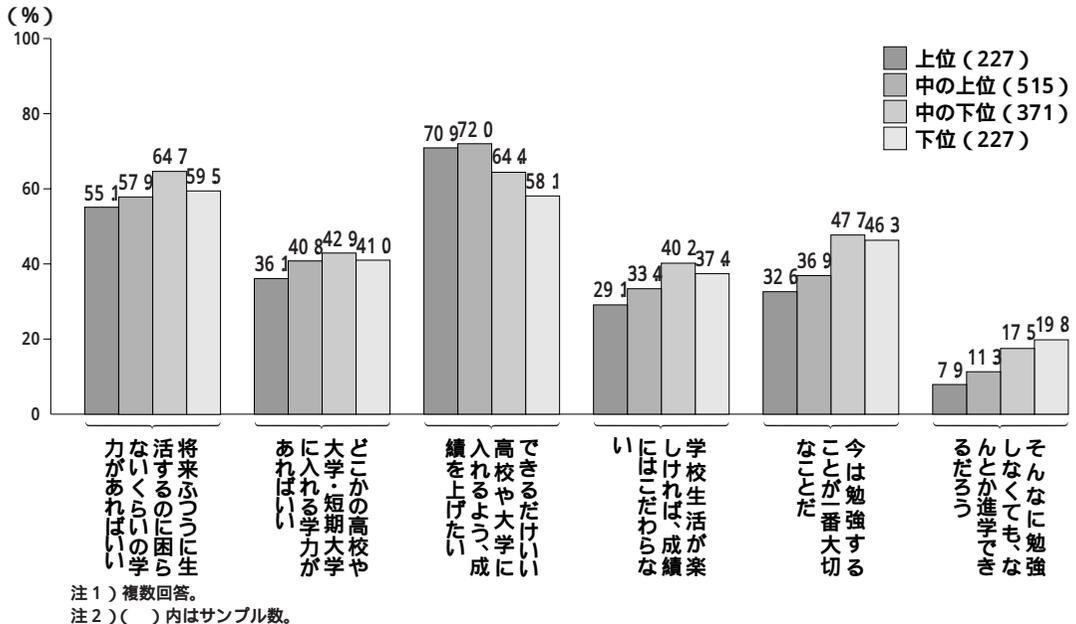


図3-2-1 成績観・学力観（2教科合計の学力階層別）



## 2 . 学習していて感じることと学力

算数の学力が上位であるほど算数だけでなく、国語、英語、社会に関する関心、意欲が高い。また、国語では、すべての教科にかかわる項目で学力上位層ほど関心、意欲も高くなっており、階層ごとの差も算数の場合よりも大きい。このことは、国語の学力が他の教科の関心、意欲を支える基礎的な学力となっている可能性を示唆している。

Q

あなたは勉強していて、次のように感じることがありますか。

最初に、図3 - 2 - 2 ①で算数の学力階層別に関心、意欲にかかわる項目をみよう。当然のことだが、算数の学力が高いほど「算数の考え方や解き方を『すばらしい』とか『ふしぎだな』と感じる」「算数の問題の解き方を考えたり工夫したりするのが好きだ」と答える割合が多くなる。しかしそれだけでなく、国語に関する質問項目の「国語の教科書を読んでいて、登場人物や書いてある内容に興味が出てくる」でも「上位」76.5%、「中の上位」72.5%、「中の下位」66.6%、「下位」59.3%と上位層ほど高い値になっており、「自分や相手の気持ち・考えをうまく出し合えたらいいなと思う」でも「上位」80.8%、「中の上位」76.4%、「中の下位」69.5%、「下位」60.2%とやはり上位層ほど高い値になっている。さらに、英語に関する質問でも「英語を

使って外国の人と話したり、手紙を書いたりしてみたい」に対して「上位」66.3%、「中の上位」63.7%、「中の下位」55.3%、「下位」53.3%と上位層ほど高い値になっている。そして、社会に関する質問項目でも算数の学力階層が「上位」であるほど高い値になっている。算数の学力階層が高いほど算数、国語、英語、社会に関する関心、意欲が高い。

続いて、図3 - 2 - 2 ②で、国語の学力と各教科の関心、意欲の関係をみると、今度はすべての教科にかかわる項目で国語の学力が高いほど関心、意欲も高くなっており、階層ごとの差違も算数の場合よりも大きい。こうした結果は、国語の学力が他の教科の関心、意欲を支える基礎的な学力となっている可能性を示唆している。

図3-2-2 学習していて感じること（算数の学力階層別）

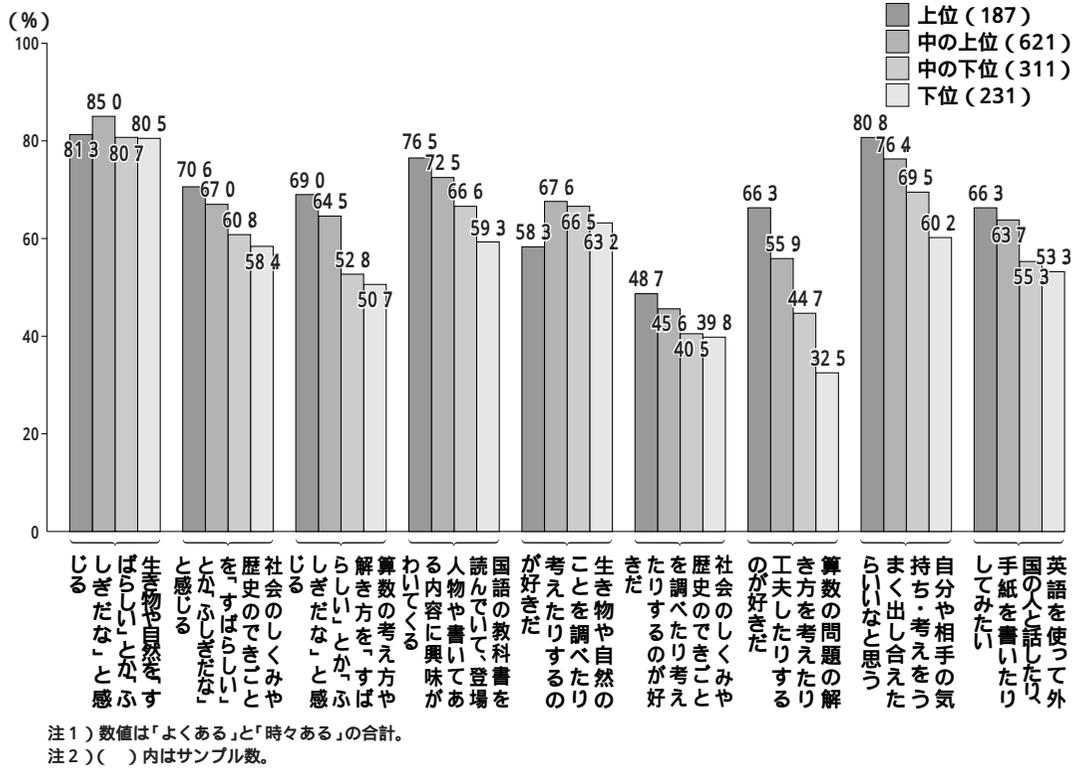


図3-2-2 学習していて感じること（国語の学力階層別）

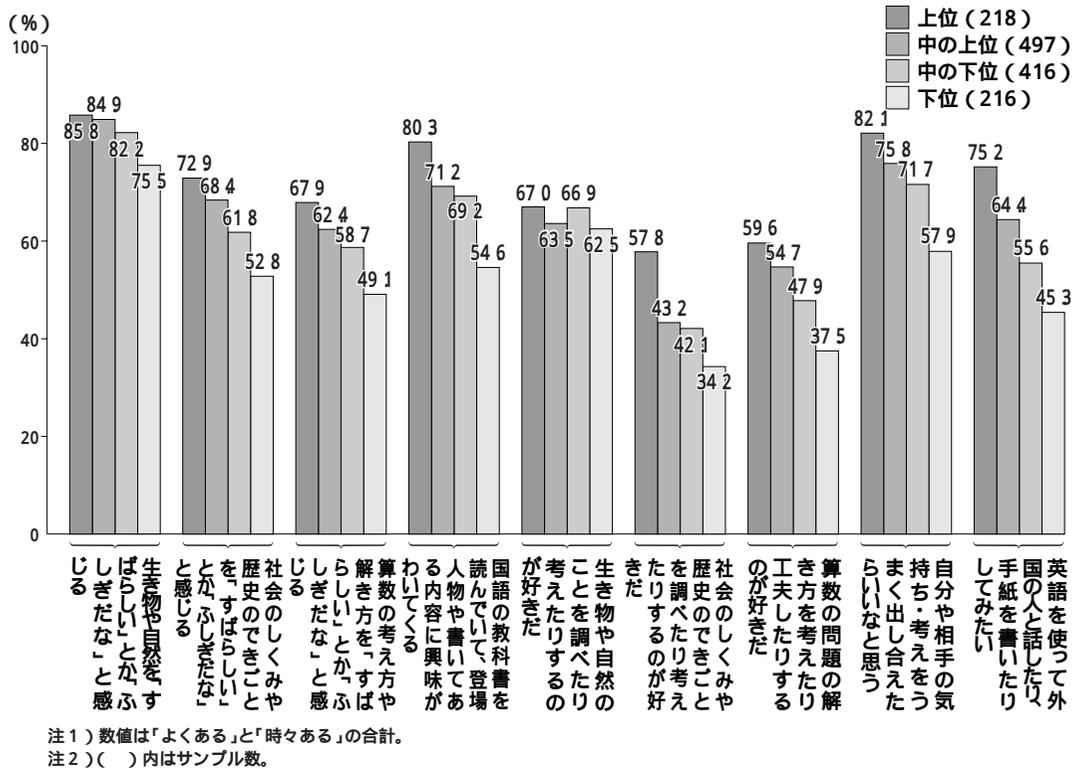
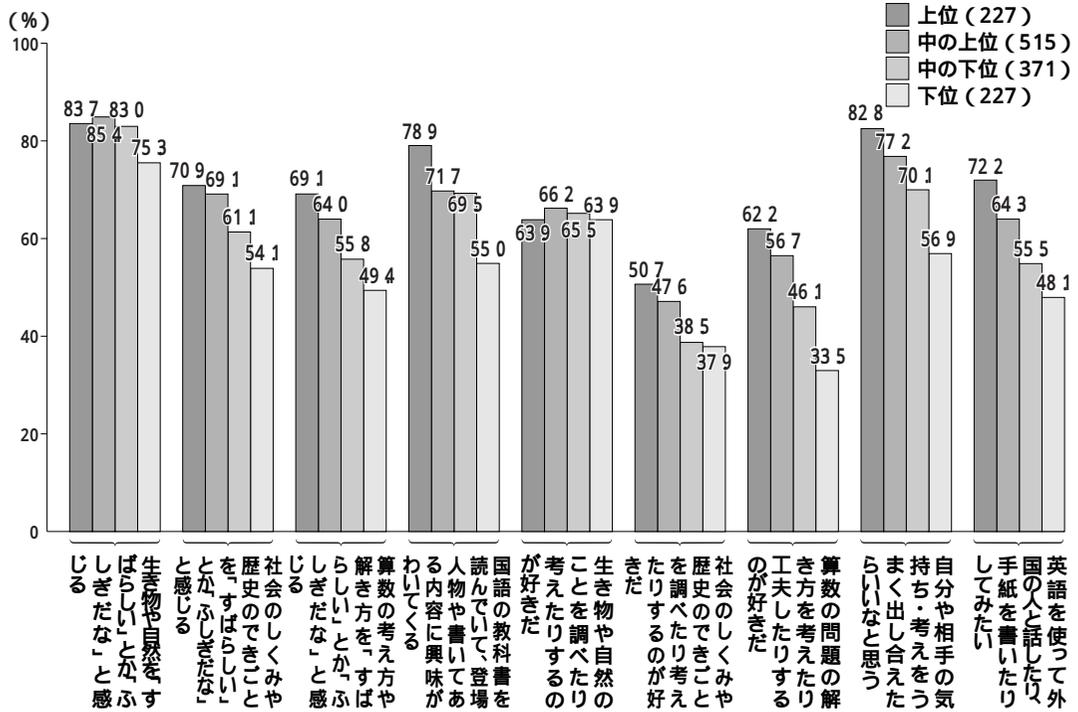


図3-2-2 学習していて感じること(2教科合計の学力階層別)



注1) 数値は「よくある」と「時々ある」の合計。

注2) ( )内はサンプル数。

### 3. 学習上の悩みと学力

学力の低い子どもは高い子どもよりも学習の難易度と覚える量の多さに困難を感じている。さらに、学力の低い子どもは高い子どもと比べて学習に対して疎外的である。しかし、学力下位層は上位層よりも学力向上意欲が強い。



あなたは勉強について、次のように思うことがありますか。

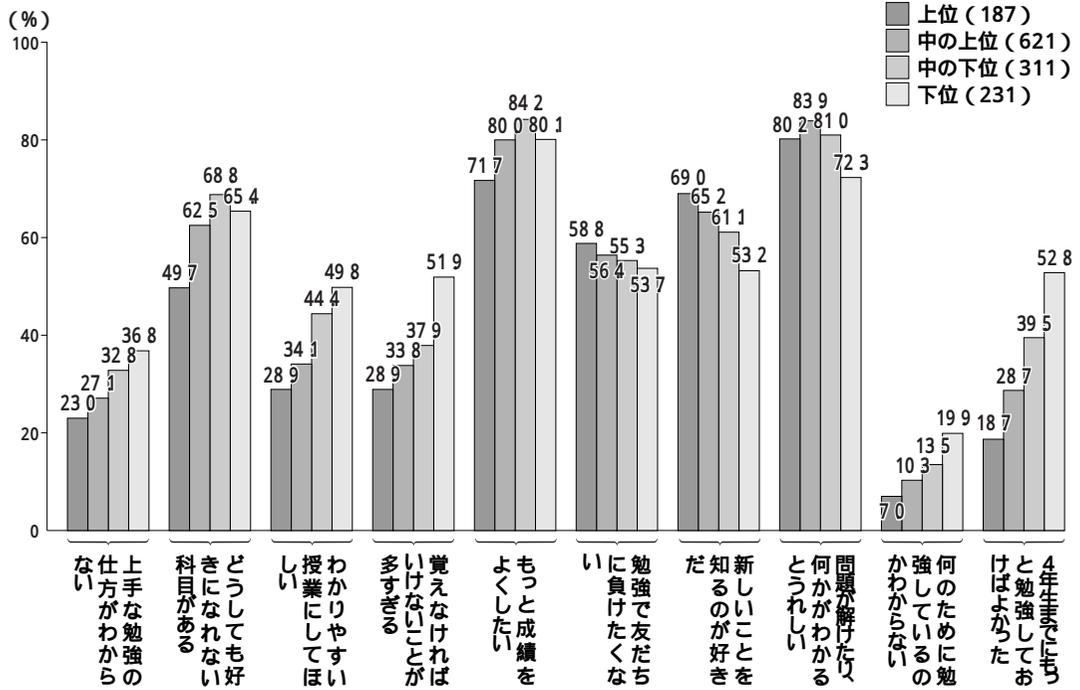
学力の高い子と低い子で勉強についての悩みはどう違うのだろうか。今度は、学力階層別に学習上の悩みについてみてみよう。

最初に、図3-2-3①で算数の学力階層別にみると、「わかりやすい授業にしてほしい(「上位」28.9%対「下位」49.8%)」「覚えなければいけないことが多すぎる(28.9%対51.9%)」の2項目で「上位」と「下位」の差がおおよそ2割開いている。学力の低い子どもは高い子どもよりも学習の難易度と覚える量の多さに困難を感じている。さらに、学力の低い子どもは高い子どもよりも「新しいことを知るのが好きだ(69.0%対53.2%)」と知ることを好きになる割合が低く、「問題が解けたり、何かがわかるとうれしい(80.2%対72.3%)」とうれしさも少ない。また、「何

のために勉強しているのかわからない(7.0%対19.9%)」と勉強の意義をつかんでいない割合も高く、「上手な勉強の仕方がわからない(23.0%対36.8%)」も「下位」のほうが高い。このように学力の低い子どもは高い子どもと比べて、学習に対して疎外的である。しかし、下位層は上位層よりも「4年生までにもっと勉強しておけばよかった(18.7%対52.8%)」と悔やむ気持ちは強く、「もっと成績をよくしたい(71.7%対80.1%)」という向上意欲も強いという傾向も持っている。決して疎外されたままではない。

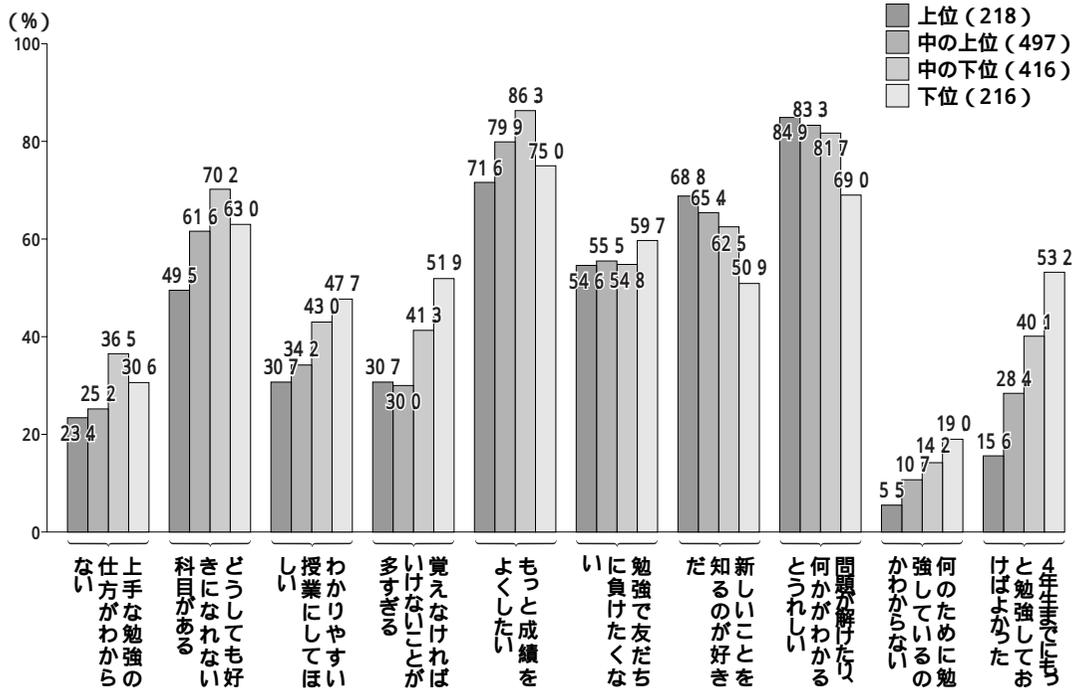
図3-2-3②と図3-2-3③で国語の学力階層と2教科合計の学力階層ごとの学習上の悩みについてみている。ここでも、算数と同じ傾向が読み取れた。

図3-2-3 学習上の悩み（算数の学力階層別）



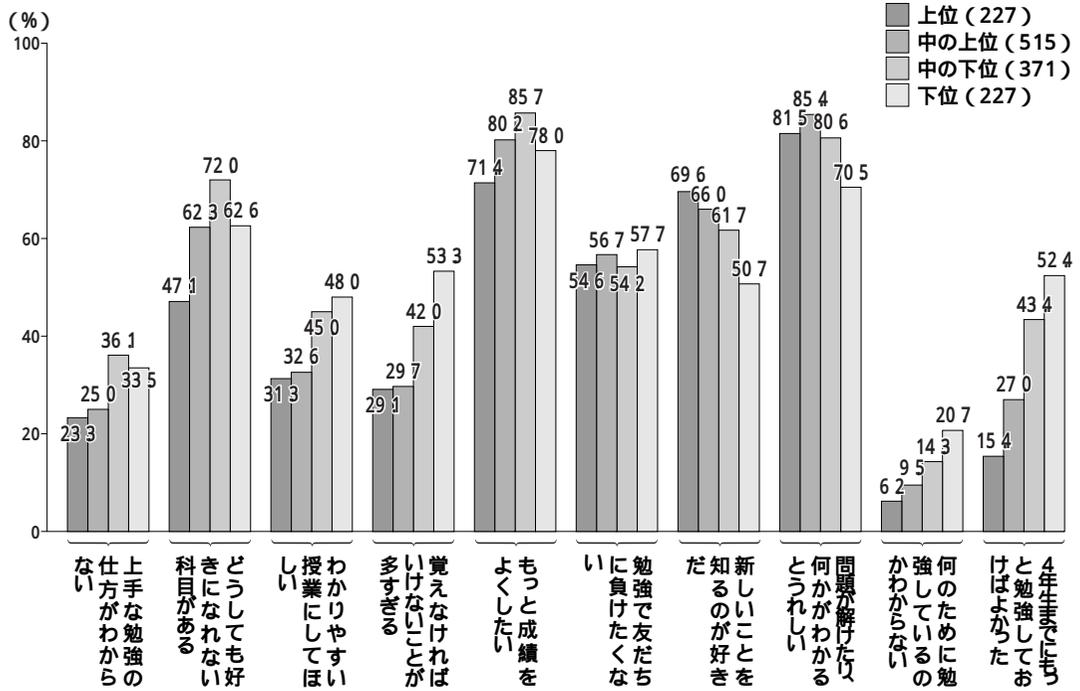
注1) 複数回答。  
注2) ( )内はサンプル数。

図3-2-3 学習上の悩み（国語の学力階層別）



注1) 複数回答。  
注2) ( )内はサンプル数。

図3-2-3 学習上の悩み（2教科合計の学力階層別）



注1) 複数回答。  
注2) ( )内はサンプル数。

## 4 . 進路・進学意識と学力

学力上位層は下位層に比べると、中学受験を希望する割合が高い。さらに、「四年制大学まで」や「大学院まで」の進学を希望する割合も高く、将来進みたい学校段階は、現在の学力と関連していることがわかる。

Q

あなたは、どこかの中学校（私立中学校や国立大学の附属中学校）を受験しようと思っていますか。

あなたは将来、どの学校まで進みたいですか。

学力が高い子どもは低い子どもと比べて、中学受験を希望する割合が高い。表3-2-3でこのことをみると、中学受験を決めている割合は、算数の学力階層では「上位」が32.1%と3割強、「中の上位」が17.2%と2割弱、そして「中の下位」が13.2%、「下位」

が12.6%とそれぞれ1割強である。こうした差は国語の学力階層ではやや小さくなり、国語の学力階層の「上位」は21.6%、「中の上位」は23.7%、「中の下位」は11.3%、「下位」は10.2%であった。算数の学力階層のほうが中学受験との相関が強い。

表3-2-3 中学受験の希望（学力階層別）

（%）

	算 数				国 語				2教科合計			
	上位 (187)	中の上位 (621)	中の下位 (311)	下位 (231)	上位 (218)	中の上位 (497)	中の下位 (416)	下位 (216)	上位 (227)	中の上位 (515)	中の下位 (371)	下位 (227)
受験する	<u>32.1</u>	17.2	13.2	<u>12.6</u>	21.6	<u>23.7</u>	11.3	<u>10.2</u>	<u>27.3</u>	19.0	13.5	<u>10.6</u>
まだ決めていない	<u>40.1</u>	50.4	50.5	<u>51.5</u>	<u>42.7</u>	46.1	<u>54.3</u>	52.8	<u>42.3</u>	48.3	<u>52.3</u>	52.0
受験しない	27.3	32.2	35.4	32.9	34.4	29.8	33.9	34.7	30.0	31.8	34.2	34.4

注1) 下線は10%以上差があるもの（最大値と最小値）

注2) ( )内はサンプル数。

続いて、表3-2-4で算数、国語、2教科合計の各学力階層別に、将来どの学校まで進みたいかをみると、まず、2教科合計の「上位」は「四年制大学まで」が18.1%、「大学院まで」が14.5%と合計して32.6%が大学以上を希望している。これに対して「下位」では「四年制大学まで」が6.6%、「大学院まで」が5.7%と合計しても12.3%にしかならない。反対に、「上位」では「中学校まで」が0.9%、

「高校まで」が15.0%で、合計して15.9%しかないのに対して、「下位」では「中学校まで」が8.4%、「高校まで」が36.6%で、合計して45.0%にもなっている。明らかに、学力階層によって将来希望する学校段階が異なる。2教科合計の学力階層とほぼ同様な傾向を、算数の学力階層別、国語の学力階層別でも読み取ることができる。

表3-2-4 希望する進学段階（学力階層別）

(%)

	算 数				国 語				2教科合計			
	上位 (187)	中の上位 (621)	中の下位 (311)	下位 (231)	上位 (218)	中の上位 (497)	中の下位 (416)	下位 (216)	上位 (227)	中の上位 (515)	中の下位 (371)	下位 (227)
中学校まで	0.0	2.4	4.2	7.4	0.9	2.0	4.3	7.4	0.9	1.6	4.3	8.4
高校まで	<u>17.1</u>	23.2	35.0	<u>35.1</u>	<u>17.0</u>	21.5	32.7	<u>39.8</u>	<u>15.0</u>	21.6	36.4	<u>36.6</u>
専門学校・各種学校まで	15.5	16.6	11.6	11.7	<u>20.2</u>	16.9	11.8	<u>6.9</u>	<u>20.7</u>	15.5	11.6	<u>9.7</u>
短期大学まで	7.0	9.0	8.4	4.3	11.0	8.2	7.9	2.8	9.3	9.5	7.5	2.6
四年制大学まで	<u>20.9</u>	14.7	9.0	<u>8.2</u>	<u>16.1</u>	15.9	12.3	<u>5.6</u>	<u>18.1</u>	16.7	9.4	<u>6.6</u>
大学院まで	15.5	11.0	7.1	6.5	12.8	12.5	7.2	6.0	14.5	11.8	7.0	5.7
その他	2.7	2.1	0.3	1.7	1.8	2.2	1.4	1.4	2.2	2.3	1.1	0.9
わからない	21.4	20.6	24.1	22.1	19.7	20.1	21.9	27.8	19.4	20.2	22.6	26.4

注1) 下線は10%以上差があるもの(最大値と最小値)。

注2) ( )内はサンプル数。